



としよだより 10月号

令和6年10月 祇園小学校図書室 第6号

だんだん日が暮れるのも早くなり、秋らしくなってきましたね。

秋といえば読書の秋。

10月27日(日)~11月9日(土)は、全国読書週間です。

今年度の読書週間の標語は「この一行に逢いにきた」。

心に残る一行を探しに、子供たちと一緒に本を読んでみてはいかがでしょうか。



本の戻しかたについて

最近、本が正しい場所に戻されないため、探している本が見つからないことが多くあります。

学校図書館では、貸出した本は、返却手続きをした後、自分で戻すことになっています。

先生や図書委員さんが気づいたときに正しい場所に直すように心がけていますが、一人一人がきちんと戻すことで、スムーズに貸出や探し物ができるようになります。

本の背表紙の分類番号(としよピンゴで使う番号)や記号・数字をよく見ると、本の戻す場所がわかります。下の図書室マップを見て探してみましょう。(読書ファイルにも綴じてあります)

どうしても戻す場所がわからないときは、勝手に棚に戻さず、先生や図書委員さんに聞か、入口の横にある【もどすばしょがわからない本】の箱に入れます。

また、戻す棚の場所だけでなく、本の上下や背表紙の向きもよく見て、なるべく本が倒れないように立てて置いてください。

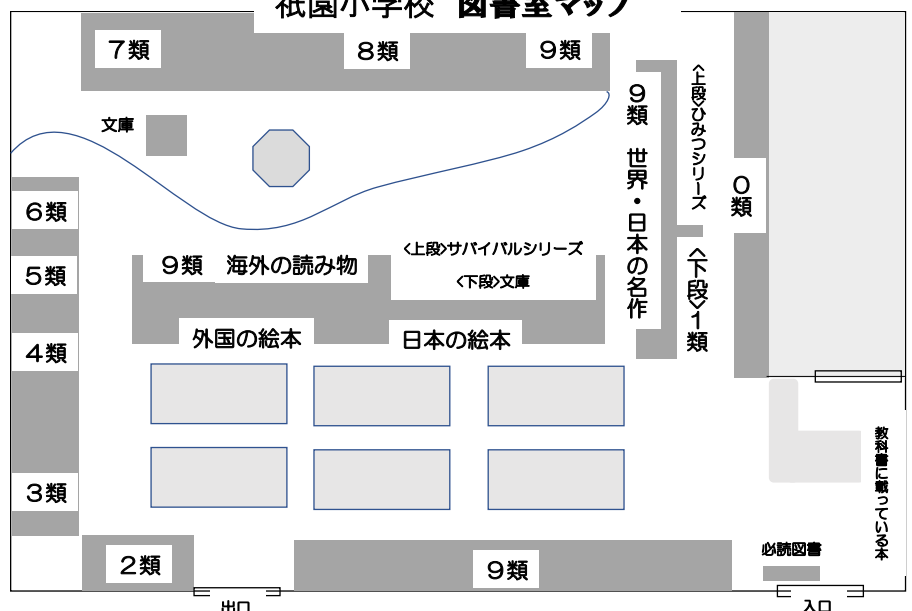
次に利用する人が探しやすいように、そして本が傷まないように、

みんなが使いやすい図書室を保つためご協力をお願いします。



祇園小学校 図書室マップ

学校図書館の分類番号のマップです。教科書に載っている本や、必読図書など、特別に置いてある本は、分類が混ざっていることもあります。ほとんどの本が分類ごとに分けて置いてあります。市立図書館も、基本は分類別に配置されています。本を戻す場所が分からないとき、探している本が見つからないときは参考に見てみてください。



学校図書室の入り口

必読図書